



インターンシップ案内 2019



社会を福祉のちからで、良くする

人を育て、人とともに、地域とつながる



社会福祉法人 岳寿会

social welfare service corporation GAKUJYUKAI

戦略的な事業経営を、充実した整備環境で。

～自分の可能性を自由に広げ、活かす～

岳寿会では「福祉って愛だね。」をモットーに、
社会福祉法人としての責務を全うするためには
働く人の心を豊かにするべきだと考えます。

南阿蘇の雄大な自然の中で、あなたの力を自由に伸ばし、活かしてみませんか？
お金では買えない充実感がここにはあります。

わくわくする暮らしとやりがいのある仕事、
理想のワークライフバランスを手に入れませんか？

心から地域に必要とされる法人をめざして、一緒に笑顔あふれる未来を想像し、
夢を創造していきましょう。

岳寿会は、まさに今、あなたの力を必要としています。



社会福祉法人 岳寿会 担当：住吉
〒869-1602

熊本県阿蘇郡高森町大字高森 3175 番地
TEL : 0967-62-3111

Mail : recruitment@gakujoyukai.com

社会福祉法人 岳寿会

事業内容

熊本：南阿蘇の高齢者施設を中心とした福祉施設。特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護、ケアプランセンター、こども食堂、無料英会話教室、生計困難者レスキュー事業、地区老人会サロン事業支援、食の自立支援、福祉有償運送事業、その他地域貢献事業（看取り介護の実施・交通指導・クリーンアップ作戦・災害復興イベント）制度にとらわれない革新的な取組を行っています。



◆開設／1984年4月1日

◆入所定員

特別養護老人ホーム	80名	(多床室)
ショートステイ	14名	(多床室)
デイサービス	35名	



◆開設／2011年6月1日

◆入所定員

特別養護老人ホーム	29名	(個室)
ショートステイ	10名	(個室)
デイサービス	18名	



岳寿会インターンシップ

◆目的◆インターンシップを通してキャリア感の醸成や取り組む意義など、社会的有意義性を感じてもらい、介護福祉施設の魅力発信の場にする。またこれらの受け入れが職員へのより良い刺激となり新たな創意工夫が行われることを期待します。

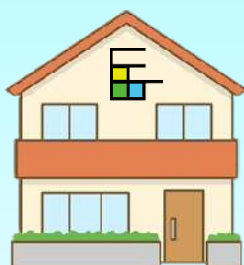
◆ポイント◆フィードバックの充実

有償制度あり

岳習館（研修宿泊施設）あり

実施期間は1日～希望に合わせてプログラムを作成します。

（5日間以上で6日目以降は、自分で選んだ部署で研修できます）



インターンシップ受入プログラム

<5日間の例>

	主な研修内容
1日目	<ul style="list-style-type: none">・オリエンテーション（本部紹介、事業計画、事業説明）・事務業務・1日の振り返り
2日目	<ul style="list-style-type: none">・梅香苑施設での介護業務（車椅子介助、食事介助等）・1日の振り返り
3日目	<ul style="list-style-type: none">・梅香苑デイサービスセンターでの介護業務、レクリエーション体験・1日の振り返り
4日目	<ul style="list-style-type: none">・ひめゆり施設での介護業務（車椅子介助、食事介助等）・1日の振り返り
5日目	<ul style="list-style-type: none">・梅香苑施設での看護業務・梅香苑施設での相談業務・1日の振り返り

インターンシップを終えて

関西学院大学 人間福祉学部 社会福祉学科

① なぜここに

私が特別養護老人ホーム梅香苑でインターンシップを行おうと思った理由は、社会性を身につけたかったのと、将来の夢が定まっていなかったため看護師、介護士、栄養士など様々な職業の方で成り立っている老人ホームで働くことで将来への夢の幅を広げたいからでした。

② 来るまでのイメージ

梅香苑で働く前までは老人ホーム＝介護というイメージがありました。ただ、ここで働いてみると介護と言っても在宅介護など種類があることを知ることができ、また介護士、栄養士のほかにも地域の様々な職業の方があってこそこの老人ホームなのだと思いました。

③ インターンシップの具体的な内容

広報と企画をしました。現在、高齢化社会が進んでおり日本人だけでは人手が足りなくなっているのが現状です。そうすると日本人だけではなく外国の方を視野に入れて考えるということを1番に考えました。企画では、毎年行われる夏祭りの一部の企画を任せてもらいました。この夏祭りでは地域の方や入居者の家族の方など様々な方が来られるため、どのように工夫をすれば来苑された方が楽しめるのか考え企画をしました。

④ 苦労したこと

1番苦労したことは電話対応や接客です。わたしは人見知りな所があり初対面の方とどのように接すればいいのかわかりませんでした。しかし、梅香苑に来られるお客様はいつも初対面の方なので最初はどうも対応できずに待たせてしまったりすることも多かったのですが慣れていくうちに、電話や来苑されたお客様が初対面の方でもうまく対応することができるようになりました。苦労したことで、将来仕事につくときに接客は必須だと思うのでこのインターンシップがよい経験となりました。

⑤ 終わってみて感じたこと

私はいつも業務を終えると、今日やった業務内容と次の目標を書き、それにコメントを書いてもらい次に活かしていました。このフィードバックのおかげで自分の気付いていない注意点に気付いたり、良かったところをもっと伸ばそうと業務を行う上での良い活力となりました。ここで社会性も身につけられたと思いますし、いろいろな職業の方を見る事ができ将来の職業を考えるいい機会になりました。

2カ月間の長期のインターンシップに参加（有償）

鹿児島大学 法文学部

インターンシップに参加した部署は総務、仕事内容は運営推進マネジメントを担当しました。最初に感じたのは職員全員が真剣に取り組んでいるということ。

福祉は優しさと本気が隣り合わせだと感じた。

利用者と接する際は笑顔でいることを心がけ、さらに生活の分析や運営状況の把握、ご家族・医療機関・行政などとの真剣な折衝にも携わった。

また事業計画のサポートなど仕事を任されるようになり、自分が考えた企画が通った時はやりがいを感じ、自らの成長を実感できた。

徐々に専門性が求められるようになり、法律の知識の必要性など法治国家だということを実感した。

最後の一月は予算の管理や報告書の分析、物事の本質の追求や深堀を学んだ。

インターンシップ後にはフィードバックや面接もあり、より自分ことを知る良い機会になった。

大企業と違い多くの事を行う必要があり、専門性も必要だが広範囲の社会性を身に付けることができた。



やりたい事が見つからないまま就職活動をすることに不安を感じていたため、何か行動を起こそうとインターンシップを希望しました。

福祉施設については無知に等しい状態でしたが、今まで知らなかったフィールドで経験することはとても新鮮で、学ぶことが沢山ありました。

当初は、総合職というものがどういった内容の仕事をするのか分からず不安がありましたが、日々の仕事の中で判断力やアイデアが求められ、やりがいや楽しさを感じることができました。

福祉の仕事には様々な資格があり、資格取得を目指すにも最適な環境だと感じました。



～担当者からのコメント～

本気のインターンシップに参加していただきありがとうございました。

多くの皆さんが、しっかりと将来を見据えた考えを持って学生生活を送られていることは頼もしい限りです。インターンシップにおいても、福祉を選んだ理由に、知らない世界に興味があったなど、とてもチャレンジ精神旺盛な方や意欲的な方がいらっしやっただことも印象的でした。

人は一人一人特徴が異なり、得意分野を持っています。

インターンシップ生には自分の特徴を理解してもらう為にまず自己分析をしてもらい、業務に従事してもらっております。(しかしインターンシップに来られる方達は既に自分のことをよく理解しています。)

インターンシップ初日から数日は覚えることも多く、一日が終わるとヘトヘトになっている印象でしたが、自己分析の結果を指導者とインターンシップ生で話し合い共通理解を深めたことで自分の特徴や得意分野が分かり、業務をこなす上で自信が湧いてきたのか日が経つにつれ、引き締まった表情になっていくのを感じました。

しかし、人によっては、フィードバックが苦痛に感じた方がいらっしやっただかもしれませんね。

途中よりインターンシップ生ということは忘れて、一職員として結果や質を求めるに足りる人材に成長していたのは驚きでした。